shindaiwa®

取扱説明書

LEDバッテリー投光機

バルーンタイプ

SMB240LBG

SMB240LLG

⚠ 注意
安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
また、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。

SMB240LBG
X753-004 95 5
X753808-100 5

はじめに

このたびは、新ダイワのＬＥＤバッテリー投光機をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書は、本機を安全に正しく使用していただくために作成しています。
  本機の取扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。

- 本機の取扱いは、この取扱説明書の内容を理解し、安全な取扱いができる人が行ってください。また、安全作業上で影響が出るような病気・薬服用・体調不良のときは、本機の使用を控えてください。

- 本機を使用した作業や本機の取扱いにおいては、関連する法律（労働安全衛生法、電気事業法、電気工事士法、消防法、騒音規制法等）およびそれらの法律に基づく規則を遵守してください。

- 本機を貸し出すときは、必ず取扱説明書を添付し、よく読んでから使用するよう指導してください。

- この取扱説明書は、いつでもご覧いただけるよう、所定の場所に大切に保管してください。
  紛失・汚損・破損したときは、お求めの販売店にご注文ください。

- ご不明な点、お気づきの点がありましたらお求めの販売店にご相談ください。
  また、本機についてのお問い合せ時は、モデル名と製造番号をお知らせください。

- 本機を廃棄するときは、産業廃棄物として関連法規に基づいた処理を行ってください。処理にお困りのときは、お求めの販売店にご相談ください。

■この取扱説明書では、注意事項のランクを下記のように区分しています。

危険	取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。
注意	取り扱いを誤ると、中程度の傷害や軽傷を負う可能性がある場合および物的損害が発生する可能性がある場合。
〈注意〉	本機の保護と、本機の性能を十分に発揮させるための注意事項。

- 『 ⚠ **注意** 』に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

目　次

1．安全上の注意 …… 1
2．仕様 …… 3
3．用途 …… 4
4．各部の名称 …… 4
5．購入時の点検･準備 …… 5
6．装備 …… 5
6-1．充電スイッチ …… 5
6-2．バッテリー容量表示スイッチ …… 6
6-3．バッテリー容量表示ランプ …… 6
6-4．モニターランプ …… 6
6-5．ＬＥＤ点灯スイッチ …… 7
6-6．半灯／全灯点灯切替スイッチ …… 7
6-7．照度調整つまみ …… 7
6-8．キャスターストッパー …… 8
6-9．電源プラグ …… 8
6-10．バッテリーコネクタ …… 8
6-11．コネクタ …… 9
7．操作方法 …… 9
7-1．台車ハンドルの操作 …… 9
7-2．マストの操作 …… 9
8．運転手順 …… 11
8-1．バッテリーの充電 …… 12
8-2．ＬＥＤの点灯 …… 12
8-3．ＬＥＤの消灯 …… 13
8-4．灯具の収納 …… 13
9．運搬方法(移動・車載) …… 13
10．バッテリー発電機(蓄電機)の取付け・取外し方法 …… 14
11．灯具ユニットの取付け・取外し方法 …… 15
11-1．灯具ユニットの取付け …… 15
11-2．バルーン布の取付け …… 16
11-3．灯具カバーの取付け …… 17
12．点検・整備 …… 17
12-1．バッテリーの管理 …… 18
12-2．バッテリーの交換 …… 18
12-3．フィルターの清掃 …… 19
12-4．バルーン布の汚れ落とし …… 19
12-5．バルーン布の補修 …… 19
13．長期保管 …… 20
14．故障時の対応 …… 20

１．安全上の注意

危険：転倒／けが

- マストを起こす場合は、地盤のしっかりした水平な場所に設置し、キャスターを必ずロックしてください。やむをえず傾斜地で使用する場合は、ブロックなどでマストが垂直になるようにレベル調整を行ってください。
- マストを上げた状態での車輪移動やトラック車載運搬は避けてください。路面の状態が悪いときは、マストを倒して移動・運搬を行ってください。

（ＳＭＢ２４０ＬＢＧの場合）

- 必ず、バッテリー発電機（蓄電機）ＳＢＧ１５Ｂを取り付けて使用してください。取り外して使用すると台車部が軽くなり、耐転倒風速が低下します。
- 本機の転倒風速は１３ｍ／ｓですが、転倒に対する安全確保のため、風速１０ｍ／ｓ（目安：葉のある潅木がゆれる、水面に波頭が立つなどの状態）以上では使用しないでください。

（ＳＭＢ２４０ＬＬＧの場合）

- 必ず、バッテリー発電機（蓄電機）ＳＬＧ１５Ｂを取り付けて使用してください。取り外して使用すると台車部が軽くなり、耐転倒風速が低下します。
- 本機の転倒風速は１１ｍ／ｓですが、転倒に対する安全確保のため、風速 8m/ｓ（目安：低い樹木がゆれ始める風速）以上では使用しないでください。

危険：落下／けが

- マストを上げたときは、固定ハンドルを確実に締めてください。
- 本機のマストは、ゆっくり下がる構造になっていますが、マストを下げるときは、必ず上部マストを片手で支えてから、固定ハンドルを徐々にゆるめてください。
- 本機を吊り上げるときは、マストを倒してください。なお、吊り上げフックは、台車フレームの指定した２箇所にかけてください。マストには吊り上げフック等をかけないでください。
- 本機を吊り上げるときは、台車フレームのフレームロックが確実にロック溝に入っていることを確認してください。
- バッテリー発電機（蓄電機）を持ち上げるときは、必ずバッテリーボックスの取手を持ってください。コントロールボックスをつかんで持ち上げると、キャッチクリップが破損してバッテリーボックスが落下することがあります。
- マストを上げた状態では、マストを倒さないでください。灯具ユニットが重く、危険です。

危険：感電

- 充電中、本機や体がぬれているときは、本機に触れないでください。
- 電源プラグ（プラグアダプタも含む）の抜き差しは、ぬれた手でしないでください。
- 本機の充電中は、３ピンの電源プラグ接地ピンまたは、２ピンプラグアダプタのアース線を接地して使用してください。
- 点検・整備を行うときは、必ず電源プラグを電源から抜いて行ってください。
- 電源コードは、傷付いた状態で使用しないでください。

危険：発熱・発火・破裂

（ＳＭＢ２４０ＬＬＧの場合）

- バッテリーはＳＬＧ１５Ｂ以外で充電しないでください。
- バッテリーを火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないでください。
- 海水などで濡れたバッテリーを使用しないでください。
- バッテリーを変形やショートさせたり、分解・改造しないでください。

警告：禁止

（ＳＭＢ２４０ＬＬＧの場合）

- 医療機器など、人命にかかわる用途に使用しないでください。

⚠ 注意：目や皮膚への障害

（ＳＭＢ２４０ＬＢＧの場合）

- バッテリー液には希硫酸が含まれていますので、目・皮膚・衣服などに付着させないでください。
  付着したときはすぐに多量の水で洗い流し、特に目に入ったときは必ず医師の診断を受けてください。

⚠ 注意：感電

- 本機に水をかけたり、雨中で使用しないでください。

⚠ 注意：爆発・火災

- バッテリーの点検や交換を行うときには、バッテリー端子間を金属製の工具やケーブル端子などで短絡させないでください。

（ＳＭＢ２４０ＬＢＧの場合）

- バッテリーは引火性ガスを発生しますので、付近でスパークさせたり火気を近づけないでください。
- 本機の近くで溶接作業や切断作業をしないでください。
- 作業場や充電場所の換気は、十分に行ってください。

⚠ 注意：やけど

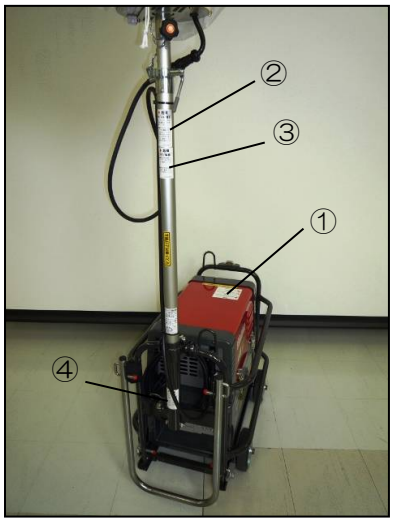
- ＬＥＤ点灯時や消灯直後は、灯具ユニットが高温になっていますので触れないでください。

⚠ 注意：けが

- 本機の保管は、水平な場所に設置し、キャスターを必ずロックしてください。
- 改造したり、部品を外したまま使用しないでください。
- 台車フレームを分離する際、フレームを手前に強く引き抜くと、倒したマストの底で自身を強く突く恐れがありますので、マストから体をずらして作業してください。

■警告ラベルの貼付位置

警告ラベルが見えにくくなったり破損したときは、新しいラベルを指定場所に貼り替えてください。ラベルの注文は（　）内の番号で注文してください。



① 危険・注意
　　（部品番号　Ｘ５０５－００６３００）（ＳＭＢ２４０ＬＢＧ用）
　　（部品番号　Ｘ５０５－００７２３０）（ＳＭＢ２４０ＬＬＧ用）
② けが　（部品番号　Ｐ０２２－０２７１００）
③ けが　（部品番号　Ｐ０２２－０２７１１０）
④ けが　（部品番号　Ｘ５０５－００６４７１）
⑤ やけど（部品番号　Ｘ５０５－００５３９０）
⑥ 危険　（部品番号　Ｘ５０５－００６８８０）（ＳＭＢ２４０ＬＬＧ用）

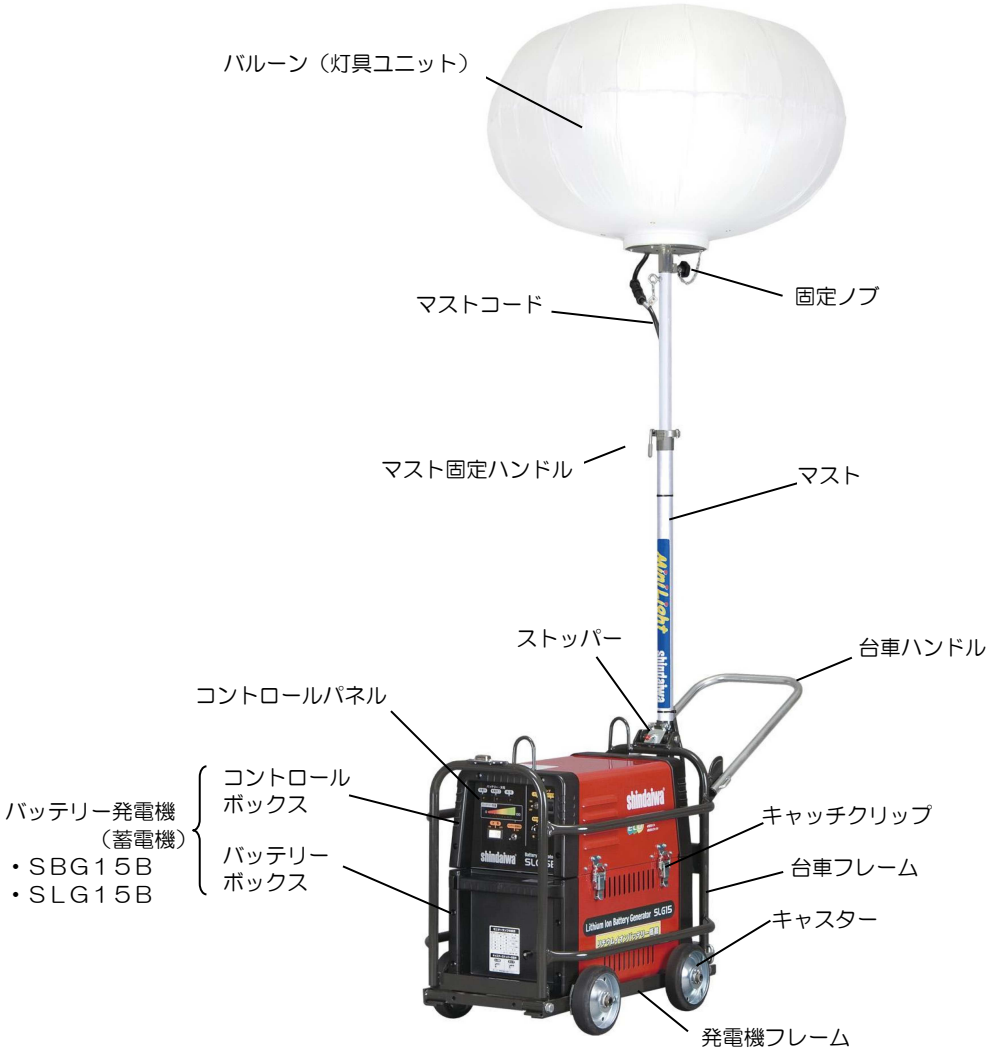
２．仕様

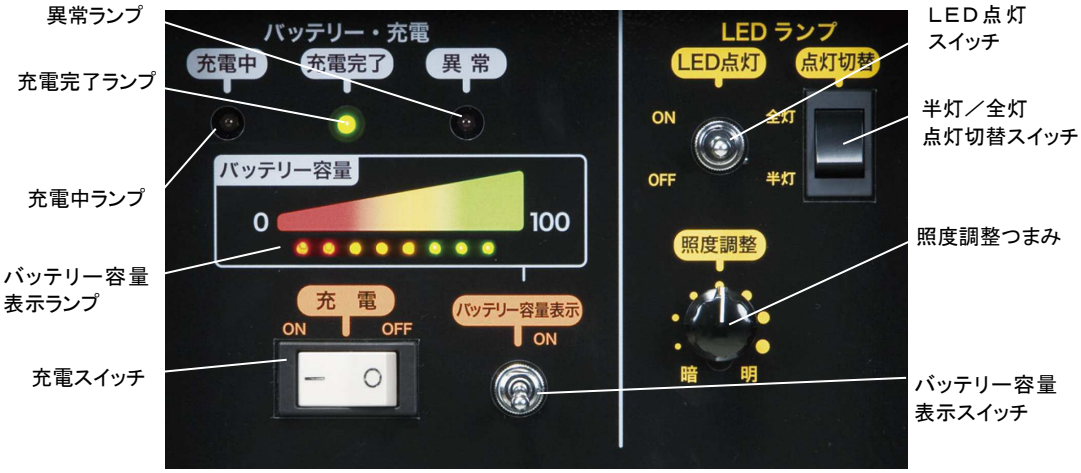
型式				SMB240LBG	SMB240LLG
入力特性	定格電圧		（V）	100	
	定格周波数		（Hｚ）	50/60	
	定格容量		（VA）	1,500	
バッテリー	種類			密閉型サイクルサービス用 ジーエス・ユアサ ＳＥＢ35	リチウムイオン
	電圧		（V）	DC12	DC12.8
	容量		（Ａｈ）	35	27
	寸法（Ｌ×W×H）		（mm）	238×129×241	181×76.5×171
	質量		（ｋｇ）	14.2	3.5
	数量		（個）	3	6
	連続点灯時間		（ｈ）	5	8
	充電時間	急速充電(80%容量)	（ｈ）	2	－
		満充電	（ｈ）	7	3
灯具ユニット	定格電圧		（V）	DC24	
	定格消費電力		（W）	240	
	バルーン布			－Ｆ：全光タイプ －Ｓ：反射タイプ	
	ランプ	種類		高輝度白色ＬＥＤ	
		消費電力×数量	（W×個）	40×6	
		全光束	（Ｌｍ）	28,800	
		色温度	（K）	5,000	
		定格電圧	（V）	DC24	
	外形寸法		（mm）	φ840×500	
	質量（バルーン布、灯具カバーを含む）		（ｋｇ）	6	
台車	マスト			手動伸縮２段	
	作業時高さ		（mm）	1,990～2,760	
	キャスター		（mm）	φ150×4	
	ブレーキ			キャスターストッパー （手動ホイルロック）	
	収納時寸法(Ｌ×W×H)　（灯具なし）		（mm）	1,095×451×660	
	乾燥質量		（ｋｇ）	２３．５	
装備品	充電スイッチ			有	
	ＬＥＤ点灯スイッチ			有	
	半灯／全灯点灯切替スイッチ			有	
	照度調整つまみ			有	
	バッテリー容量表示スイッチ			有	
	電源コード			VCT2mm^2　３芯　3m	
運搬性	総質量		（ｋｇ）	１０４．５	82
	吊り上げフック			フレーム２点吊り	
モニター	バッテリー容量表示			ランプ(レベル表示)	
	充電中			ランプ	
	充電完了			ランプ (点滅で充電残り時間を識別)	
	充電異常			ランプ	
保護入力	バッテリー充電	充電スイッチ		ブレーカー（15A）	
		入力電圧異常保護		電子式（135V以上入力時遮断）	
		ﾊﾞｯﾃﾘｰｺﾈｸﾀ接続不良		電子式（遮断）	
保護出力	ＬＥＤ出力	制御回路温度異常保護		電子式	
		制御回路過負荷保護		電子式	
マスト	転倒防止			ストッパー	
	落下防止			エアダンパーマスト	
使用温度			（℃）	0～40	

3．用途

○各種照明

4．各部の名称





バッテリー発電機（蓄電機） SBG15B／SLG15B コントロールパネル

５．購入時の点検・準備

危険：感電

- 点検・整備を行うときは、必ず電源プラグを電源から抜いて行ってください。

危険：発熱・発火・破裂

（SMB240LLG の場合）

- バッテリーはＳＬＧ１５Ｂ以外で充電しないでください。
- バッテリーを火中投入、加熱、高温での充電・使用･放置をしないでください。
- 海水などで濡れたバッテリーを使用しないでください。
- バッテリーを変形やショートさせたり、分解･改造しないでください。

注意：目や皮膚への障害

（SMB240LBG の場合）

- バッテリー液には希硫酸が含まれていますので、目・皮膚・衣服などに付着させないでください。
  付着したときはすぐに多量の水で洗い流し、特に目に入ったときは必ず医師の診断を受けてください。

注意:爆発･火災

- バッテリーの点検や交換を行うときには、バッテリー端子間を金属製の工具やケーブル端子などで短絡させないでください。

（SMB240LBG の場合）

- バッテリーは引火性ガスを発生しますので、付近でスパークさせたり火気を近づけないでください。
- 本機の近くで溶接作業や切断作業をしないでください。
- 作業場や充電場所の換気は、十分に行ってください。

工場出荷運送中に、部品の破損、バッテリー液のもれ等が生じていないか点検してください。

本機を初めて使用するときは、必ずバッテリーを満充電にしてから使用してください。
充電方法については。「８－１．バッテリーの充電」の項目をお読みください。

６．装備

６－１．充電スイッチ

バッテリーを充電するスイッチです。電源プラグを家庭用１００Ｖコンセントに差し込み、充電スイッチを『ＯＮ』にするとバッテリーの充電を開始します。バッテリーが満充電になると、スイッチはＯＮ状態のままで、自動的に電源を遮断します。
本機は、バッテリーの自己放電を自動的に補う「全自動バッテリー補充電機能」が装備されています。長時間使用しない場合も、電源プラグを家庭用１００Ｖコンセントに差し込み、充電スイッチを『ＯＮ』にしていると、定期的に補充電を行います。充電時以外は自動的に電源を遮断しますので、過充電や電力消費量の心配はありません。

〈注意〉

- 充電スイッチは、過電流で回路遮断してもスイッチレバーは『ＯＮ』の状態のままになります。復帰させる場合は、一度『ＯＦＦ』にしてから『ＯＮ』してください。

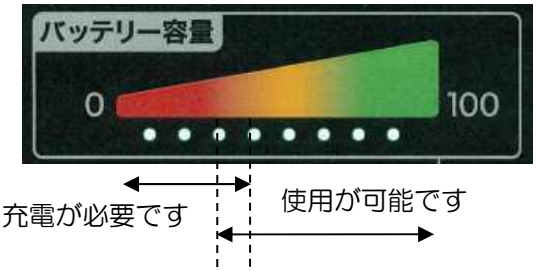
※補充電とは・・・・
バッテリーは満充電（100%充電）にしていても、長時間使用しないとバッテリー内部で若干放電して、容量が徐々に減ってしまいます。これを補うために定期的に行う充電のことを補充電と呼んでいます。

６－２．バッテリー容量表示スイッチ

充電中以外のときに、バッテリー容量を表示するスイッチです。スイッチレバーをバッテリー容量表示ランプが点灯するまで『ON』の方に引き上げ、手を離すとスイッチレバーは『ＯＦＦ』に戻りますが、数秒間バッテリー容量表示ランプが点灯しその後消灯します。

６－３．バッテリー容量表示ランプ

バッテリー容量表示スイッチを『ON』にした場合と、電源プラグを家庭用１００Ｖコンセントに差し込んで充電スイッチを『ON』にした場合に、バッテリー容量表示ランプが点灯して、バッテリー容量が確認できます。
バッテリー容量表示スイッチを『ON』にして確認する場合は、スイッチを『ON』にしてから数秒間バッテリー容量表示ランプが点灯しその後消灯します。
バッテリー容量の増加と共に左側の赤色から黄色、緑色の順番でランプが点灯し、全ランプ点灯が最大容量状態を表します。バッテリー容量が減少し黄色から赤色ランプが点灯する状態になりましたら、充電してください。



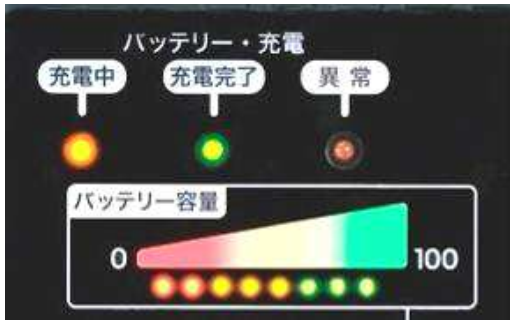
６－４．モニターランプ

（１） モニターランプには、次の３種類があります。

●充電中ランプ：充電中に点灯します。

●充電完了ランプ：充電が完了すると点灯します。充電中は充電状態に合わせて点滅します。

●異常ランプ：バッテリーの異常時に点滅します。



（２）充電完了ランプ

（SMB240LBG の場合）

充電は通常約７時間で完了しますが、次表の通り充電完了ランプの点滅状態によって充電完了までの時間を判断することが出来ます。

○：点灯　◎：点滅　●：消灯

No.	充電中ランプ	充電完了ランプ	充電状態・残り時間	充電量（目安）
1	○	●	強充電中	0～80%
2	○	◎（0.5 秒おき点滅）	弱充電初期	
3	○	◎（1 秒おき点滅）	残り３～４時間	約 80%
4	○	◎（2 秒おき点滅）	残り２～３時間	約 90%
5	○	○	残り１時間	95%以上
6	●	○	充電完了	100%

（SMB240LLG の場合）

充電は、通常約３時間で完了します。
充電中は、充電中ランプが点灯し、充電が完了すると充電中ランプが消灯して充電完了ランプが点灯します。

（３）充電中の異常は、次表のように異常ランプの点滅状態によって原因を判断することができます。

（SMB240LBG の場合）
◎：点滅　　●：消灯

	充電中ランプ	充電完了ランプ	異常ランプ	原因	処置
1	●	●	◎（1.5 秒消灯後 0.5 秒間に２回点滅）	バッテリーコネクタの接続不良	バッテリーコネクタを確実に接続する
2	●	●	◎（1 秒間に４回点滅）	入力電圧の異常	交流１００Ｖ電源に接続する

（SMB240LLG の場合）
◎：点滅　　●：消灯

No.	充電中ランプ	充電完了ランプ	異常ランプ	原因	処置
1	●	●	◎（1.5 秒消灯後 0.5 秒間に２回点滅）	バッテリーコネクタの接続不良	バッテリーコネクタを確実に接続する
2	●	●	◎（1 秒間に４回点滅）	入力電圧の異常	交流１００Ｖ電源に接続する

〈注意〉
- 処置しても正常にならないときは、お求めの販売店に修理を申しつけてください。

６－５．ＬＥＤ点灯スイッチ

ＬＥＤを点灯させるスイッチです。
ＬＥＤを点灯させる場合は、スイッチを１秒以上『ＯＮ』に、消灯させる場合は『ＯＦＦ』にしてください。
このスイッチは、『ＯＮ』の動作後手を離すと中立の位置に戻りますが、『ＯＮ』の動作は継続します。

６－６．半灯／全灯点灯切替スイッチ

灯具ユニット（ＬＥＤ）の点灯を半灯点灯（下側半分のみ）または、全灯点灯に切り替えるスイッチです。

６－７．照度調整つまみ

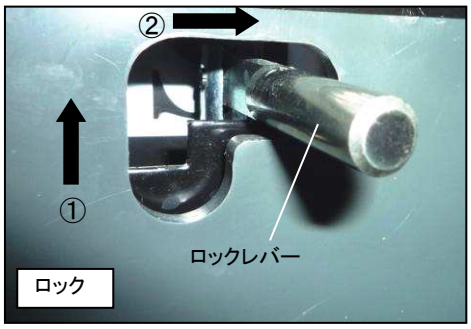
ＬＥＤの明るさを調整するつまみです。右回転いっぱいまで回した状態が最大明るさで、左回転いっぱいまで回した状態が最小明るさです。
ＬＥＤが明るすぎる場合や、バッテリー容量が少なくなり点灯時間を長くしたい場合に、左回転方向に回して明るさを調整してください。

６－８．キャスターストッパー

> ⚠ 注意：けが
> ●本機の保管は、水平な場所に設置し、キャスターを必ずロックしてください。

本機にはロック可能なキャスターを装備しています。本機を固定するときにご使用ください。

（１）キャスターをロックする場合



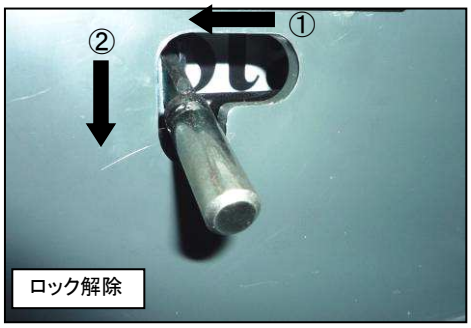
1 キャスターロックレバーを矢印①の方向に上げます。

2 本機を前後に移動させると、キャスターロックレバーが矢印②の方向に移動し、「カチッ」と音がしてキャスターがロックされます。

3 本機が移動しないことを確認します。

（２）キャスターのロックを解除する場合

キャスターロックレバーを矢印①の方向に引き寄せた後、矢印②の方向に下げてください。



〈注意〉
●本機を移動させるときは、必ずキャスターストッパーのロックを解除してください。ロックさせた状態で移動させると故障の原因となります。

６－９．電源プラグ

> 危険：感電
> ●電源プラグ（プラグアダプタも含む）の抜き差しは、ぬれた手でしないでください。
> ●本機の充電中は、３ピンの電源プラグ接地ピンまたは、２ピンプラグアダプタのアース線を接地して使用してください。
> ●電源コードは、傷付いた状態で使用しないでください。

バッテリーを充電する電源プラグです。電源プラグは、３ピン(接地付)の標準プラグに２ピンのプラグアダプタが付属されています。接続する１００Ｖコンセントが３ピン用であれば、プラグアダプタを抜き取って使用してください。
２ピンアダプタを使用する場合は、必ずアース線を接地してください。

〈注意〉
● バッテリー充電時の最大電流は、約１５Ａです。１００Ｖコンセントの容量を確認して接続してください。また、他の機器と同じコンセントに接続するとコンセントのブレーカー容量をオーバーし遮断することがあります。

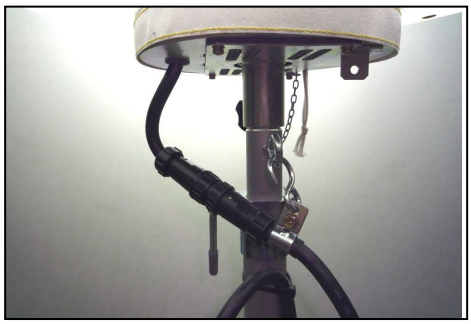
６－１０．バッテリーコネクタ

バッテリーボックスのバッテリーとコントロールボックスを接続するコネクタです。

〈注意〉
● 充電中やＬＥＤ点灯中は、スパークが発生しますのでバッテリーコネクタを外さないでください。

６－１１．コネクタ

バッテリー発電機（蓄電機）と灯具ユニットをコードで接続するコネクタです。
バッテリー発電機（蓄電機）と台車部を分離するとき、または灯具ユニットと台車部を分離するときに接続を外します。
接続を外すときは、コード側の抜け止めリングを左に回してゆるめ、コネクタを抜いてください。
接続のときは、コネクタのはめ合い位置を合わせて差し込み、抜け止めリングを右に回して締め付けます。



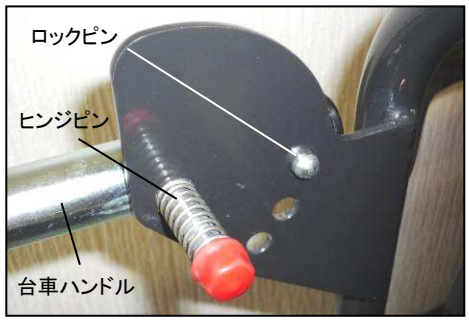
７．操作方法

７－１．台車ハンドルの操作

移動用の台車ハンドルは、３段階の位置に固定でき、その固定を解除すると折りたたんで収納できます。ハンドルの固定と解除は、次の方法で行ってください。

（１） 固定方法

収納状態からそのままハンドルを起こすと、ロックピンが１段目の穴に入り、ハンドルは自動的に固定されます。



（２） 解除方法

ハンドルの左右ヒンジピン内側の赤いキャップ部を外に向けて押すと、ロックピンが穴から外れます。
ピンの位置が穴を逃げたら手を離してください。

７－２．マストの操作

危険：感電

- 充電中、本機や体がぬれているときは、本機に触れないでください。

危険：落下／けが

- マストを上げたときは、固定ハンドルを確実に締めてください。
- 本機のマストは、ゆっくり下がる構造になっていますが、マストを下げるときは、必ず上部マストを片手で支えてから、固定ハンドルを徐々にゆるめてください。
- マストを上げた状態では、マストを倒さないでください。灯具ユニットが重く、危険です。

マストを折りたたんだ状態で収納できる構造になっていますので、この安定した状態で、移動・運搬・保管を行うようにしてください。また、上部マストの上げ・下げは手動式です。このマストの操作は、次の方法で行ってください。

（1） マストの設置

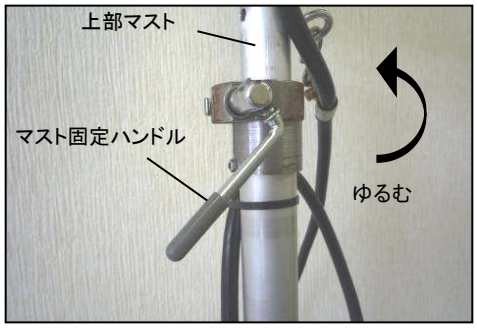
1 マストを持ち上げます。マストは、台車先端のマグネットで保持されています。

2 マストが起きたところで、マストを設置用ロックラッチに押し付けます。「カチッ」と音がしてラッチのツメが掛かり、マストは自動的にロックされます。

（2） マストの上昇

1 マスト固定ハンドルをゆるめます。

2 上部マストには内部に抜け止め防止が付いていますので、上部マストをいっぱいまで引き上げ、マスト固定ハンドルで確実に締めます。



（3） マストの降下

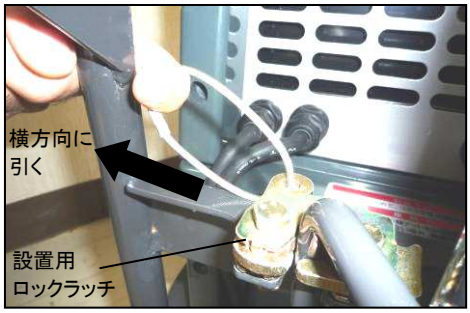
1 上部マストを片手でしっかり支えてから、マスト固定ハンドルを徐々にゆるめ、マストをゆっくり下げていきます。

2 いっぱいまで下がったら、マスト固定ハンドルを締めます。

（4） マストの収納

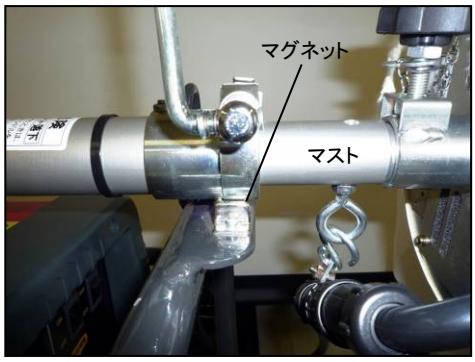
1 上部マストをいっぱいまで下げて固定します。

2 マストの上部を片手で支え、設置用ロックラッチのリングひもを横方向に引き、ロックを解除します。
ラッチのツメが外れたら、ひもを離してください。



3 ストッパーが働いたら、マストを少し戻してから、つまみ（赤）を持ち上げ、ストパーの掛かりを外します。
ストッパーは、不意にロックを解除してしまったり、何らかの要因でロックが外れたりした場合でも、マストが倒れないよう、少し傾いたところで働く構造になっています。

4 マストをゆっくり倒していき、台車先端のマグネットに当てマストを保持させます。



8．運転手順

危険：転倒／けが

- マストを起こす場合は、地盤のしっかりした水平な場所に設置し、キャスターを必ずロックしてください。やむをえず傾斜地で使用する場合は、ブロックなどでマストが垂直になるようにレベル調整を行ってください。
- マストを上げた状態での車輪移動やトラック車載運搬は避けてください。路面の状態が悪いときは、マストを倒して移動・運搬を行ってください。

（SMB240LBG の場合）

- 必ず、バッテリー発電機（蓄電機）SBG１５B を取りつけて使用してください。取り外して使用すると台車部が軽くなり、耐転倒風速が低下します。
- 本機の転倒風速は 13m／ｓですが、転倒に対する安全確保のため、風速 10m／ｓ（目安：葉のある潅木がゆれる、水面に波頭が立つなどの状態）以上では使用しないでください。

（SMB240LLG の場合）

- 必ず、バッテリー発電機（蓄電機）ＳＬＧ１５B を取り付けて使用してください。取り外して使用すると台車部が軽くなり、耐転倒風速が低下します。
- 本機の転倒風速は 11m／ｓですが、転倒に対する安全確保のため、風速８m／ｓ（目安：低い樹木がゆれ始める風速）以上では使用しないでください。

危険：落下／けが

- マストを上げたときは、固定ハンドルを確実に締めてください。
- 本機のマストは、ゆっくり下がる構造になっていますが、マストを下げるときは、必ず上部マストを片手で支えてから、固定ハンドルを徐々にゆるめてください。
- マストを上げた状態では、マストを倒さないでください。灯具ユニットが重く、危険です。

危険：感電

- 充電中、本機や体がぬれているときは、本機に触れないでください。
- 電源プラグ（プラグアダプタも含む）の抜き差しは、ぬれた手でしないでください。
- 本機の充電中は、３ピンの電源プラグ接地ピンまたは、２ピンプラグアダプタのアース線を接地して使用してください。
- 電源コードは、傷付いた状態で使用しないでください。

危険：発熱・発火・破裂
（SMB２４０ＬＬＧの場合）

- バッテリーはＳＬＧ１５Ｂ以外で充電しないでください。
- バッテリーを火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないでください。
- 海水などで濡れたバッテリーを使用しないでください。
- バッテリーを変形やショートさせたり、分解・改造しないでください。

警告：禁止
（SMB２４０ＬＬＧの場合）

- 医療機器など、人命にかかわる用途に使用しないでください。

注意：感電

- 本機に水をかけたり、雨中で使用しないでください。

注意：爆発・火災

- バッテリーの点検や交換を行うときには、バッテリー端子間を金属製の工具やケーブル端子などで短絡させないでください。

（SMB２４０ＬBGの場合）

- バッテリーは引火性ガスを発生しますので、付近でスパークさせたり火気を近づけないでください。
- 本機の近くで溶接作業や切断作業をしないでください。
- 作業場や充電場所の換気は、十分に行ってください。

注意：やけど

- ＬＥＤ点灯時や消灯直後は、灯具ユニットが高温になっていますので触れないでください。

８－１．バッテリーの充電

1 電源プラグを家庭用１００Ｖコンセントに差し込みます。
２ピンアダプタを使用する場合は、アース線を接地します。

2 充電スイッチを『ON』にします。

８－２．ＬＥＤの点灯

1 照明する場所に本機を移動し、キャスターロックレバーを操作しキャスターをロックします。（「６－８．キャスターストッパー」の項を参照）

2 マストを起こします。（「7-2.マストの操作」の項を参照）

3 灯具カバーを取り外します。

4 バッテリー容量表示スイッチを『ON』にしてバッテリー容量を確認します。
バッテリー容量表示ランプが赤色ランプ領域であれば充電してからご使用ください。
（「６－２．バッテリー容量表示スイッチ」の項を参照）

5 ＬＥＤ点灯スイッチを『ON』にします。

6 マストの高さを調整します。（「7-2.マストの操作」の項を参照）

7 照度調整つまみで照度(明るさ)を調整します。（「６－７．照度調整つまみ」の項を参照）

〈注意〉
- バッテリーを充電しながらＬＥＤを点灯することもできます。
- （ＳＭＢ２４０ＬBGの場合）
  ＬＥＤ点灯中にバッテリー容量が減少して容量が約20%程度になると、ＬＥＤが一時的に点滅（一定間隔で数回点滅を繰り返す）してバッテリー容量が残り少ないことをお知らせします。

８－３．ＬＥＤの消灯

1 マストを降下させます。（「7-2.マストの操作」の項を参照）

2 ＬＥＤ点灯スイッチを『ＯＦＦ』にします。

3 マストを倒します。（「7-2.マストの操作」の項を参照）

８－４．灯具の収納

1 灯具ユニットから灯具コードを取り外します。

2 バルーン布をランプガードに巻き付けます。

3 灯具カバーを掛けます。（『１１－３．灯具カバーの取付け』の項を参照）

〈注意〉
- 一時保管するときも、カバーを掛けてください。灯具カバーを掛けないと風による擦れや紫外線により、バルーン布の寿命が低下します。

4 灯具固定ノブの先端が灯具軸のキリ穴から外れるまで、固定ノブをゆるめ、灯具ユニットを台車から降ろします。

９．運搬方法（移動・車載）

危険：転倒／けが

- マストを上げた状態での車輪移動やトラック車載運搬は避けてください。路面の状態が悪いときは、マストを倒して移動・運搬を行ってください。

危険：落下／けが

- 本機を吊り上げるときは、マストを倒してください。なお、吊り上げフックは、台車フレームの指定した２箇所にかけてください。マストには吊り上げフック等をかけないでください。
- 本機を吊り上げるときは、台車フレームのフレームロックが確実にロック溝に入っていることを確認してください。
- マストを上げた状態では、マストを倒さないでください。灯具ユニットが重く、危険です。

吊り上げ位置
本機を吊り上げるときは、吊り上げフックを台車フレームの指定した２箇所に掛けてください。

トラック車載運搬を行うときは、次の点に注意してください。
〈注意〉
- トラックに車載するときは、キャスターストッパーを動作させてキャスターをロックし、台車フレームをロープなどで固定してください。
- トラック車載運搬のときは、必ずマストを下げ、灯具を取り外してください。マストを上げて走行すると、マストが折損するおそれがあります。また、灯具を取り付けたままで走行すると、トラックの振動による衝撃でマストが折損する恐れがあります。
- 灯具ユニットにショックを与えないでください。ＬＥＤ破損の原因になります。また、灯具が転がらないようロープなどで固定してください。バルーン布破損のおそれがあります。

１０．バッテリー発電機（蓄電機）の取付け・取外し方法

危険：落下／けが

- 本機を吊り上げるときは、マストを倒してください。なお、吊り上げフックは、台車フレームの指定した２箇所にかけてください。マストには吊り上げフック等をかけないでください。
- 本機を吊り上げるときは、台車フレームのフレームロックが確実にロック溝に入っていることを確認してください。
- バッテリー発電機（蓄電機）を持ち上げるときは、必ずバッテリーボックスの取手を持ってください。コントロールボックスをつかんで持ち上げると、キャッチクリップが破損してバッテリーボックスが落下することがあります。

注意：けが

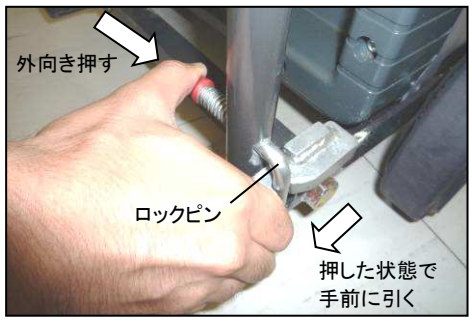
- 台車フレームを分離する際、フレームを手前に強く引き抜くと、倒したマストの底で自身を強く突く恐れがありますので、マストから体をずらして作業してください。

バッテリー発電機（蓄電機）を取り外すときは、次の手順で行ってください。取り付けるときは逆の手順で行います。充電のため台車フレームとバッテリー発電機（蓄電機）を分割して、バッテリー発電機（蓄電機）部分を交換するときはこの手順で行います。

1 マストを倒します。（「7-2.マストの操作」の項を参照）

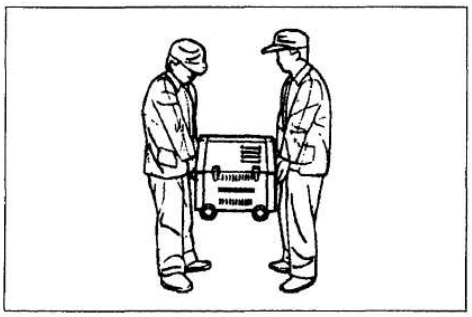
2 コネクタを外します。（「６－１１．コネクタ」の項を参照）

3 台車フレーム後ろ側下方の左右ロックピン内側の赤いキャップ部を外に向けて押します。押した状態で台車フレームを手前に引きます。発電機フレームのロック溝からロックピンが外れ、台車フレームと発電機フレームの前後の結合部分が分離します。



4 台車フレームを上方に持ち上げ、バッテリー発電機（蓄電機）から取り外します。

バッテリー発電機（蓄電機）を持ち上げるときは、バッテリーボックスの取手を持ってください。



１１．灯具ユニットの取付け・取外し方法

灯具ユニットとマストコードはコネクタで、灯具ユニットとマストはノブ固定になっていますので、工具なしで、簡単に灯具を取り外すことができます。十分なスペースのない車載や車輪移動時の灯具ユニット保護には、灯具ユニットの分割が有効です。

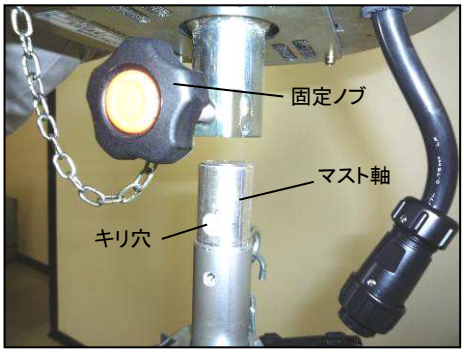
１１－１．灯具ユニットの取付け

灯具の取付けは、次の手順で行ってください。取外しは、逆の手順で行います。

1 灯具ユニットの固定ノブをゆるめ、マスト軸が入る穴の内面からねじが飛び出していない状態にします。

2 灯具ユニットの固定ノブと、マスト軸側面のキリ穴の向きをあわせ、灯具ユニットをマストに差し込みます。

3 灯具ユニットが止まるまで差し込んだら、固定ノブを締め付けます。固定ノブを締め付ける前に灯具ユニットを回転させ、ノブの先端がマスト軸側面のキリ穴に入っていることを確認してください。



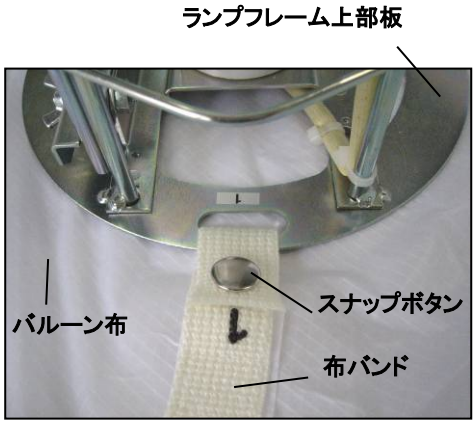
4 灯具ユニットとマストコードを接続します。コネクタのはめ合い位置を合わせて差し込み、抜け止めリングを締め付けてください。

１１－２．バルーン布の取付け

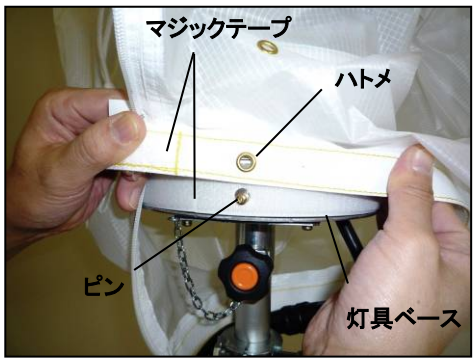
バルーン布は組み付けられておりませんので、購入時は次の方法で取り付けてご使用ください。取外しは逆の手順で行います。

1 バルーン布側面のファスナーを開きます。

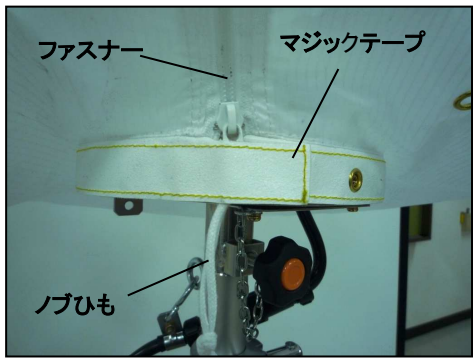
2 バルーン布内側にある布バンド３本をランプフレーム上部板の穴に通し、スナップボタンで取り付けます。このとき、布バンドと上部板に付いている番号を一致させてください。



3 バルーン布をランプガードに被せて、バルーン布下部と灯具ベースのマジックテープを貼り合せます。
このとき、バルーン布のマジックテープ端にあるハトメと灯具側マジックテープにあるピン（ネジの頭）を合せて位置を決めてください。



4 バルーン布のファスナーを閉じます。
このとき、マジックテープの端を少し剥がして、ファスナーノブひもを挟み、再び貼り付けます。
〈注意〉
- 強風によりファスナーが開くことがありますので、必ずノブひもをマジックテープで挟んでください。



１１－３．灯具カバーの取付け

バルーン布を汚したり、傷付けたりしないよう灯具カバーを取り付けます。
灯具カバーは、灯具ユニットを台車や三脚スタンドに取り付けた状態で行ってください。

1 バルーン布をランプガードに巻き付けます。

2 灯具カバーの側面のファスナーを開けます。

3 灯具の横から灯具カバーを被せ、ファスナーを閉めます。
〈注意〉
- ファスナーを閉めるとき、バルーン布を挟まないよう注意してください。

4 灯具を台車から降ろしたら、灯具カバー口元をコードストッパーで絞り、ひもを結びます。

１２．点検・整備

危険：落下／けが

- バッテリー発電機（蓄電機）を持ち上げるときは、必ずバッテリーボックスの取手を持ってください。コントロールボックスをつかんで持ち上げると、キャッチクリップが破損してバッテリーボックスが落下することがあります。

危険：感電

- 充電中、本機や体がぬれているときは、本機に触れないでください。
- 点検・整備を行うときは、必ず電源プラグを電源から抜いて行ってください。

注意：爆発・火災

- バッテリーの点検や交換を行うときには、バッテリー端子間を金属製の工具やケーブル端子などで短絡させないでください。

注意：目や皮膚への障害
（ＳＭＢ２４０ＬＢＧの場合）

- バッテリー液には希硫酸が含まれていますので、目・皮膚・衣服などに付着させないでください。
付着したときはすぐに多量の水で洗い流し、特に目に入ったときは必ず医師の診断を受けてください。

注意：やけど

- ＬＥＤ点灯時や消灯直後は、灯具が高温になっていますので触れないでください。

注意：けが

- 改造したり、部品を外したまま使用しないでください。

本機を常に良好な状態で使用できるよう、次の表にしたがって定期的に点検・整備を行ってください。

〈注意〉
●交換部品は、必ず純正品を使用してください。
●バッテリーその他の有害物を捨てる場合は、産業廃棄物として関連法規に従って処理を行ってください。処理にお困りのときは、お求めの販売店にご相談ください。

点検箇所	点検内容	始業前	月に１度	処置
灯具固定ノブ	ゆるみ	○		増し締め
マスト倒れ防止ストッパー	ストッパーの動きが硬い	○		グリス塗布
コネクタ	締付けリングのゆるみ	○		増し締め
バッテリーコネクタ	抜け	○		差し込み
バッテリー端子	ゆるみ、さび		○	増し締め、グリス塗布
台車ロックピン	はずれ	○		ロックをかける
マスト	早く降下する	○		修理
電源コード	コードの傷付き	○		補修、交換
バルーン布	破れ	○		補修、交換
	汚れ	○		ふき取り、交換
ファン	異音（運転確認）	○		交換
フィルター	目詰まり		○	揉み洗い

１２－１．バッテリーの管理

本機を長く使用していただくためには、バッテリーの管理が重要なポイントとなります。次の点に留意してください。

（１）風通しがよく、雨水のかからない場所に保管してください。

（２）使用後は、必ず満充電にして保管してください。放電した状態での保管はバッテリーの寿命を著しく縮めます。
長時間使用しない場合は、バッテリーの劣化を抑えるため、電源プラグをコンセントに差し込み充電スイッチを入れた状態にしておいてください。（「６－１．充電スイッチ」の項を参照）

（３）月に一度は、バッテリー端子部のさびやゆるみをチェックしてください。

（４）次の現象が現れたら、バッテリーの寿命です。新品のバッテリーと交換してください。
- 充電しても、点灯時間が著しく短くなった。
- 充電しても、バッテリー電圧（バッテリコネクタ両端の電圧）が下記の値にならない。
  SMB240LBG：３６Ｖ以上
  SMB240LLG：３８Ｖ以上

１２－２．バッテリーの交換

バッテリーの劣化等により、バッテリーを交換する場合は、必ず下記の純正バッテリーをご使用ください。純正以外のバッテリー使用時の性能保証はできません。
SMB240LBG：ジーエス・ユアサ　ＳＥＢ３５
SMB240LLG：リチウムイオンバッテリー

交換する場合は、次の手順で行ってください。

（１）バッテリーの取外し

1 バッテリーコネクタを外します。（「６－１０．バッテリーコネクタ」の項を参照）

2 コネクタを外します。（「６－１１．コネクタ」の項を参照）

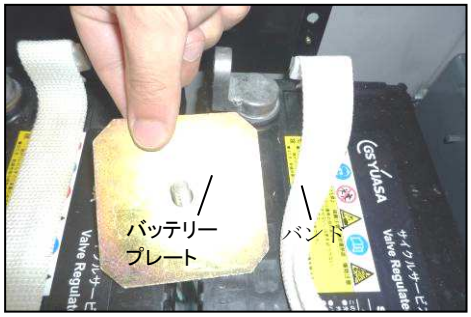
3 ４ヶ所のキャッチクリップを外します。

4 コントロールボックスをバッテリーボックスからおろします。

5 バッテリーのケーブルを取り外します。
SMB240LBG：６ヶ所
SMB240LLG：１２ヶ所

6 蝶ナットを取り外し、バッテリープレートを取り外します。

7 バッテリーを引き上げます。



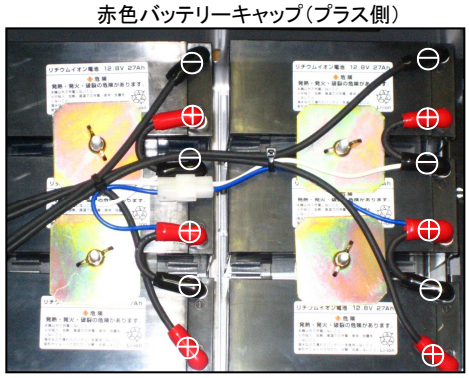
（２）バッテリーの取付け
バッテリーの取外しの逆の手順で取り付けを行ってください。バッテリーケーブル取り付けの際は、＋－を間違えないよう注意してください。

赤色バッテリーキャップ（プラス側）

キャスターストパー側

SMB240LBG

赤色バッテリーキャップ（プラス側）



キャスターストパー側

SMB240LLG

１２－３．フィルターの清掃

1 フィルターカバーの固定ネジ４本を緩め、フィルターカバーを外します。

2 フィルターは半割りになっていますので横に取り出し、水の中で軽く揉み洗いします。

3 フィルターの取付けは逆の手順で行います。

１２－４．バルーン布の汚れ落とし

中性洗剤をつけた布で、汚れを拭き取ってください。

〈注意〉

●アルコール、ガソリンなどの溶剤は使用しないでください。
●生地のコーティングを傷めますので、揉み洗いや洗濯機洗いは行わないでください。

１２－５．バルーン布の補修

補修用シート（裏面接着式）は、補修箇所のほこりや油分をきれいに落とし、バルーン布の表側からしっかり押さえて貼り付けてください。

１３．長期保管

⚠ 注意：やけど

● ＬＥＤ点灯時や消灯直後は、灯具ユニットが高温になっていますので触れないでください。

⚠ 注意：けが

● 改造したり、部品を外したまま使用しないでください。

本機を２ヶ月以上使用しないときは、次の手順で整備を行ってください。

1 泥や汚れを落とします。

2 マストを完全に下げて固定し、収納します。

3 風通しがよく、雨水のかからない保管場所に移動し、キャスターストッパーを掛けます。

4 電源プラグを家庭用１００Ｖコンセントに差し込みます。２ピンプラグアダプタを使用する場合は、アース線を接地します。

5 充電スイッチを『ON』にし、自動的に補充電が行える状態で保管します。
（「６－１．充電スイッチ」の項を参照）

１４．故障時の対応

危険：落下／けが

●バッテリー発電機（蓄電機）を持ち上げるときは、必ずバッテリーボックスの取手を持ってください。コントロールボックスをつかんで持ち上げると、キャッチクリップが破損してバッテリーボックスが落下することがあります。

危険：感電

●充電中、本機や体がぬれているときは、本機に触れないでください。

●点検・整備を行うときは、必ず電源プラグを電源から抜いて行ってください。

⚠ 注意：目や皮膚への障害

（ＳＭＢ２４０ＬＢＧの場合）

●バッテリー液には希硫酸が含まれていますので、目・皮膚・衣服などに付着させないでください。
付着したときはすぐに多量の水で洗い流し、特に目に入ったときは必ず医師の診断を受けてください。

⚠ 注意：爆発・火災

●バッテリーの点検や交換を行うときは、バッテリー端子間を金属製の工具やケーブル端子などで短絡させないでください。

⚠ 注意：やけど

●ＬＥＤ点灯時や消灯直後は、灯具が高温になっていますので触れないでください。

⚠ 注意：けが

●改造したり、部品を外したまま使用しないでください。

本機の調子が悪いときは、次の表にしたがって点検してください。点検しても正常にならないときは、お求めの販売店に修理を申しつけてください。

症状		推定原因	処置
充電しない	充電中ランプが消灯している	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをコンセントに差し込む
		充電スイッチが『ＯＦＦ』	『ON』にする
		電源電圧が低下している	100V 電源に接続する
	異常ランプが点滅	バッテリーコネクタの接続不良	確実に接続する
		入力電圧が高い	100V 電源に接続する
充電が完了しない（充電ランプが点灯し、充電完了ランプが消灯している）		電源電圧の低下	１００Ｖ電源に接続する
ＬＥＤが点灯しない		出力スイッチが『ＯＦＦ』	『ON』にする
		バッテリーコネクタの接続不良	確実に接続し、出力スイッチを一度『ＯＦＦ』にしたのち『ＯＮ』にする
		バッテリー容量の低下	充電する（バッテリー容量を確認する）
ＬＥＤの点灯時間が短い		バッテリー容量の低下	充電する（バッテリー容量を確認する）
		バッテリー寿命	バッテリーを交換する

MEMO

MEMO

株式会社やまびこ

〒198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-6181

やまびこジャパン株式会社

〒198-0025　東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-1005（代）

北海道支社
〒004-0041　北海道札幌市厚別区大谷地東 1-2-20　　Tel 011-891-2249（代）

東北支社
〒984-0002　宮城県仙台市若林区卸町東 5-1-50　　Tel 022-288-0511（代）

東日本支社
〒198-0025　東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-1091（代）

中部支社
〒452-0031　愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39　　Tel 052-502-4111（代）

西日本支社
〒701-0221　岡山県岡山市南区藤田566-159　　Tel 086-296-5911（代）

九州支社
〒816-0943　福岡県大野城市白木原 5-3-7　　Tel 092-573-5361（代）

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

(C) 2019 株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。